



# 取扱説明書

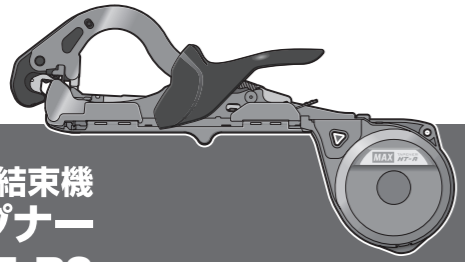
このたびは、マックス園芸用結束機をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

## 警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 使用前に正常に作動するか必ず確認する。正常に作動しない場合は絶対に使用しない。
- マガジンユニットの先端付近にはギザ刃及びステーブルの射出口があるため絶対に指を当てない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。
- カラ打ちを絶対にしない。
- ギザ刃は指定のものを必ず使用する。  
※HT-A、及びHT-Bシリーズとは非共通

この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。

テーブナーをご使用いただくには  
・指定のテーブ（別売）  
・指定のステーブル（別売）  
が必要です。



## マックス園芸用結束機 楽しくテーブナー HT-R, HT-RS

●マックスお客様相談ダイヤル **0120-228-358**  
『ナンバーディスプレイ』を利用しています。

## マックス株式会社

●本社/AF営業部 〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6

### ●販売拠点

・札幌	幌台	・大板	阪島
・仙台	京馬	・広島	岡国
・群馬	馬屋	・四国	
・名古屋			

### ●マックスエンジニアリングサービス(株)

・札幌サービスステーション	・名古屋サービスステーション
・仙台サービスステーション	・大阪サービスステーション
・高崎サービスステーション	・広島サービスステーション
・埼玉サービスステーション	・福岡サービスステーション

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

●修理・部品のご注文等、アフターサービスにつきましては、お買い求めの販売店、またはマックスエンジニアリングサービス(株)までご相談ください。

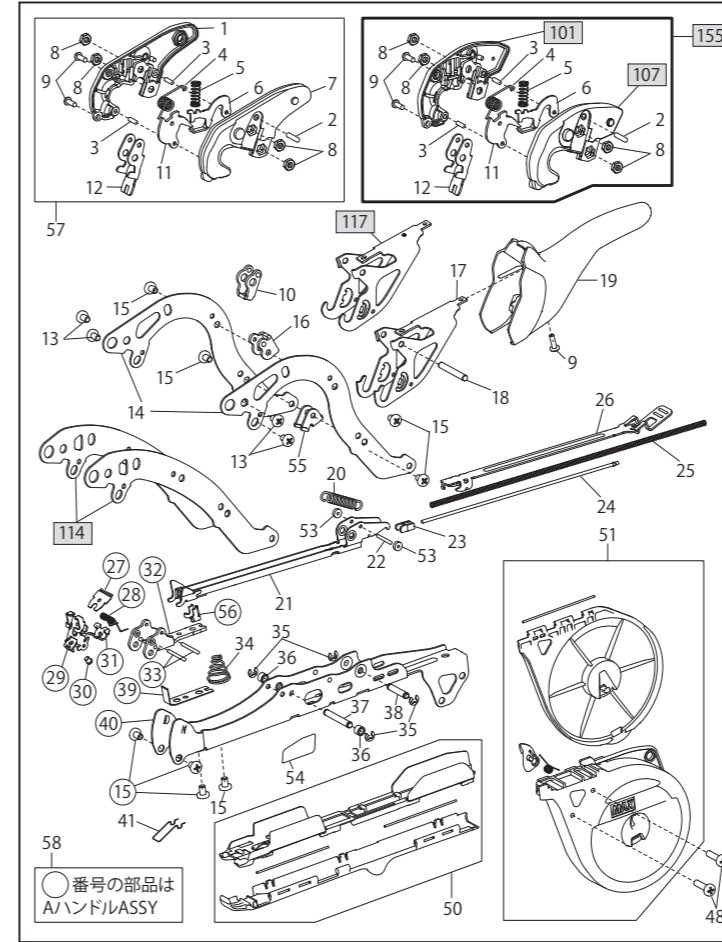


HT11685  
201207-00/03

### 便利メモ

お名前	商品名	HT-R・HT-RS
お買い上げ日	年	月
販売店名	製造番号	

## 各部の名称



No	部品コード	部品名	No	部品コード	部品名
1	HT11778	BケースS2	25	KK29131	アッシュクバネ9131
101	HT11682	BケースS (HT-RS)	26	HT11609	ステーブルカバー
2	FF31714	ヘイコウビン1714	27	商品	HT-R3ウギザバ
3	FF31712	ヘイコウビン1712	28	KK34099	ネジリコイルバネ4099
4	KK33402	ネジリコイルバネ3402	29	HT70070	テーブガイドSユニット
5	KK29192	アッシュクバネ9192	30	FF41740	ダンツクバネ1740
6	HT11768	ロックプレートS2	31	HT11763	テーブガイドサポートS
7	HT11627	Aケース	32	HT11673	テーブガイドベースS
107	HT11681	Aケース (HT-RS)	33	FF31711	ヘイコウビン1711
8	CC43107	ロックカクナツ3-4	34	KK83018	エンズイコイルバネ3018
9	AA05719	タップタイトP3×8(+ナベ)	35	J10103	Etメワ3.2
10	HT11632	クリンチャ	36	HT11615	ローラ
11	HT11622	テーブキャッチ	37	FF31643	ヘイコウビン1643
12	HT11671	テーブプレートS	38	FF31644	ヘイコウビン1644
13	AA25537	+バインドコネジ4×6	39	HT11592	ドライバ
14	HT11618	クリンチャアーム	40	HT11788	AハンドルS (R45C)
114	HT11683	クリンチャアーム (HT-RS)	41	HT11603	テーブスプリング
15	AA05716	Sタイト4×6(+バインド)	48	AA05715	タップタイト (P) 4×16(+バインド)
16	HT11619	アームサポート	50	HT70064	テーブホルダASSY
17	HT11637	Bハンドル	51	HT70065	ボビンケースASSY
117	HT11695	BハンドルS	53	GN12070	トクコムザガネ1.7×6×2
18	FF31713	ヘイコウビン1713	54	HT11661	チュウユラベル
19	HT11638	グリップ	55	HT11697	アームサポートS
20	KK13390	ヒツパババネ3390	155	HT70078	テーブキャッチS ASSY
21	HT70061	マガジンユニット	56	HT11738	クリンチャストップ
22	FF31716	ヘイコウビン1716	57	HT70111	テーブキャッチS2 ASSY
23	HT11761	プッシュ (R45C)	58	HT70071	AハンドルASSY
24	HT11610	スプリングガイドロッド			

※Noが3ケタの部品はHT-RS専用です。

## 安全作業のために

本機は、果樹などの棚誘引結束、野菜などの支柱誘引結束、ネット誘引結束を行うことを目的とした機械です。指定以外の用途、使用方法是重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

### 表示の意味について

ご使用上の注意事項は、**警告**、**注意** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

**警告** 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**注意** 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

### 絵表示について

**禁止** この記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。

## 安全作業のために

### 作業前

#### 警告

テーブ・ステーブルは、指定のものを必ず使用する。

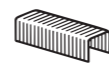
ギザ刃は指定のものを必ず使用する。  
※HT-A、及びHT-Bシリーズとは非共通

ギザ刃は必ずHT-R3ウギザ刃を使用してください。指定以外のギザ刃の使用は、刃先の破損、及び機械故障の原因となります。

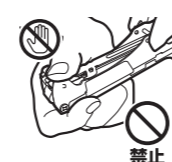
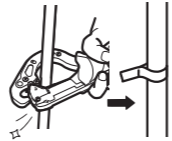
使用前に必ず正常に作動するか確認する。  
正常に作動しない場合は絶対に使用しない。

使用前に支柱など棒状のもので、本機が正常に作動するか確認してください。正常に作動しなかったり、結束できない場合は、お買い求めの販売店またはマックスエンジニアリングサービス(株)に修理に出してください。

(テーブを入れる時) マガジンユニットの先端付近には、ギザ刃及びステーブルの射出口があるため、絶対に指を当てない。



HT-R3ウギザバ  
品番 TC90015



### 作業中

#### 警告

2度打ち(ステーブルがクリンチャやマガジンに残っているうちに、次のステーブルを打つこと)を絶対にしない。

ステーブルづまりなど、本機の故障の原因となりますので避けてください。



## 安全作業のために

#### 警告

空打ちを絶対にしない。

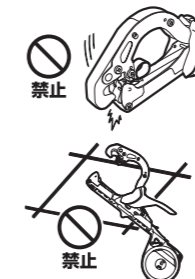
ステーブルづまりなど、本機の故障の原因となりますので避けてください。

棚の番線・支柱に本機を絶対に掛けない。

一時的に使用を中断するときに(及び作業終了後)本機を棚の番線や支柱等に掛けたまま放置しないでください。落下による事故や落下による本機の故障の原因となります。

ギザ刃付近に枝を挟まない。

ギザ刃、周辺部品の破損の原因となります。



### 作業後

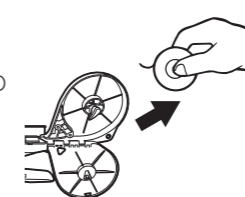
#### 警告

使用後は、テーブ・ステーブルを機械から必ず抜き取り保管する。

テーブを取り出す際は、必ずAハンドルユニットのテーブ通り道のフタを開けてください。

機械・テーブ・ステーブルは、使用後に冷暗所に保管する。

直射日光のあたる場所(例:ビニールハウス内など)に長時間放置すると、プラスチック部品が劣化したり、テーブが貼り付いたりして、本機の故障や作動不良の原因となります。



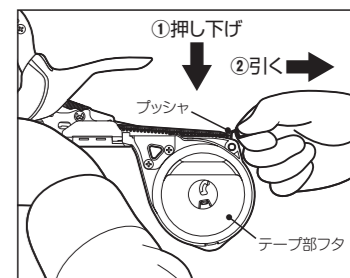
## 仕様

商品名	マックス園芸用結束機 楽しくテーブナー	
商品記号	HT-R	HT-RS
寸法	148 (H) × 353 (L) × 35 (W) mm	140 (H) × 353 (L) × 35 (W) mm
質量	420g	410g
結束範囲	最大45mmφ	最大24mmφ
ステーブル装填数	604C-L/200本×1連	604E-L/172本×1連

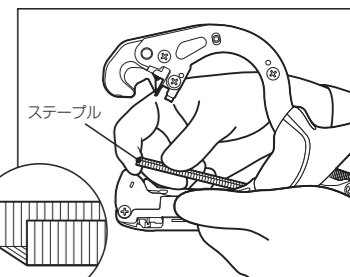
## 使用方法

### ステーブルの入れ方

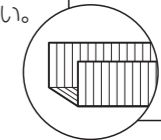
① テーブ部のフタを下に向けた状態で機械を片手で保持し、もう片方の手の指でプッシュのツマミを押し下げ、そのまま後方のテーブ部フタ側にプッシュを引き出します。



② 機械を片手で保持したまま、ステーブルをつまみ、ステーブルの足を上向きにした状態でマガジンの中に入れます。その際、ローラーを保持している支柱の下にステーブルをくぐらせるように入れてください。



③ プッシュを押し戻します。





## テープの入れ方

〈使用テープ〉  
テープは常温で保管し、直射日光の当たる場所や湿気のある場所は避けてください。

テープ種類	製品記号	色	寸法(厚さ)×(幅)×(長さ)
光分解テープ	TAPE 100-R	クリーム	0.1mm×11mm×38m
	TAPE 200-R	ペイルグリーン	0.2mm×11mm×19m
	TAPE 200-L	ピンク	0.2mm×11mm×19m
	TAPE 250-L	オレンジ	0.25mm×11mm×16m
テープナー用テープ	TAPE-10	白	0.1mm×11mm×40m
	TAPE-15	青	0.15mm×11mm×26m
	TAPE-25	赤	0.25mm×11mm×16m

以下の表に従い、使用環境温度に合ったテープをお使いください。

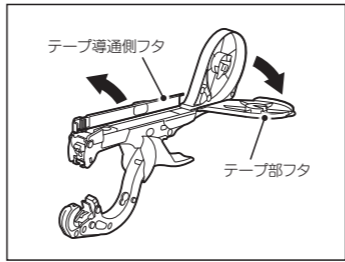
テープ種類	0℃	15℃	30℃	35℃	40℃
TAPE 100-R, TAPE-10	×	×	△ ← ○	○	×
TAPE 200-R, TAPE 200-L, TAPE 250-L, TAPE-15, TAPE-25	×	← ○	○	→	×

**△ 注意**  
●テープの厚さが薄い商品 (TAPE-10,100-R) を低温で使用すると、テープ自体が硬くなり引き出せないことがありますので、低温環境下でご利用の場合は厚いテープ (TAPE-15,200-R等) をご使用ください。

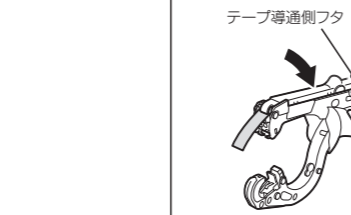
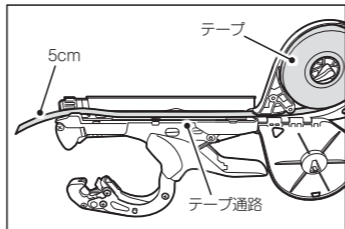
○：使用できます  
△：使用できないことがあります  
×：使用できません

① Aハンドルユニットのテープ部フタ、及びテープ導通側フタを開けます。

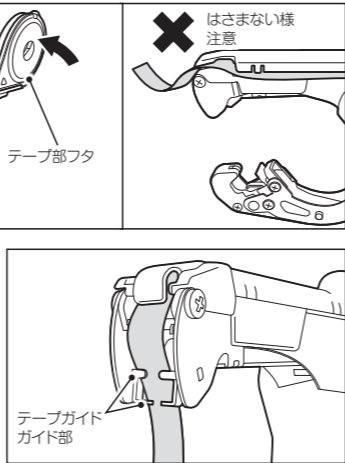
**△ 注意**  
●Aハンドルユニットのテープ導通側のフタを開ける時は、必ずツマミを持って開けてください。また、テープナーを保持する方の手はマガジンユニットの先端付近には手を触れないようにしてください。



② テープを入れ、テープ通路にテープを引き回し、テープ導通側の先端から5cm程度テープを引き出した状態で、両方のフタをしっかりと閉めます。テープ導通側のフタを閉める時は、テープをはさまないように注意してください。

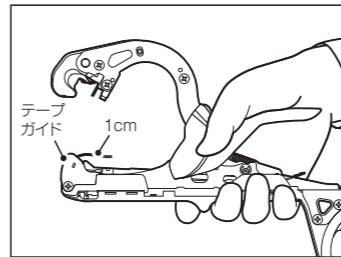


③ テープガイドの2ヶ所のガイド部にテープを通してください。

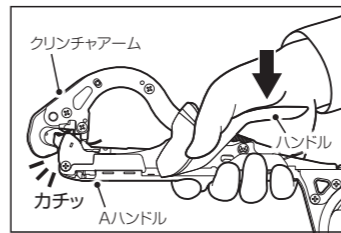


## テープのつかみ方

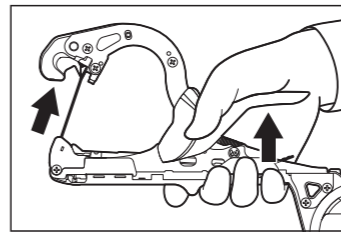
① テープの先端がテープガイドの先端から1cm程度出ているかを確認してください。不足している場合は指で引張り出してください。



② ハンドルを握り込んでください。“カチッ”と音がします。

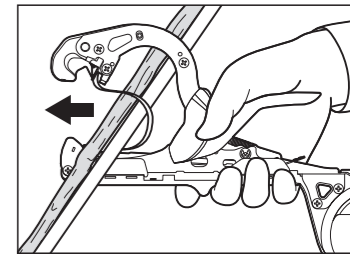


③ ハンドルを戻すと、テープが引き出されます。引き出されない場合はテープが1cm程度出ているか確認してください。“カチッ”と音がするまで握り込んでください。

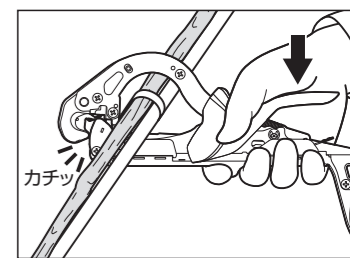


## 結束の仕方

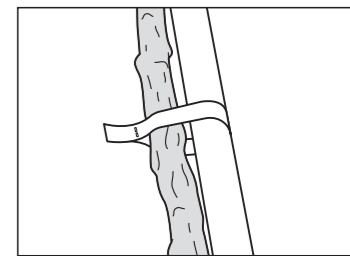
① 結束したいものに、張ってあるテープを押し付け、クリンチャームの内側に結束したいものが来るようにしてください。



② ハンドルを最後まで握り込んでください。“カチッ”と音がしてテープが切断されます。  
※テープが切断されなくなったらギザ刃の寿命です。ギザ刃を新しいものに交換してください。



③ ハンドルを戻すと、結束完了です。

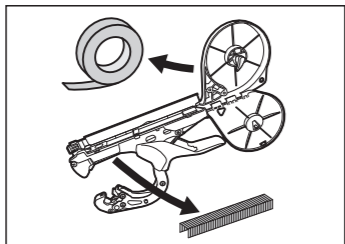
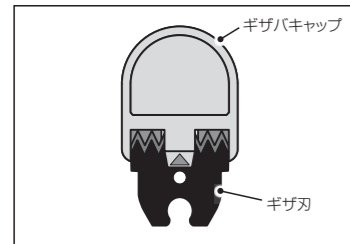


## ギザ刃の交換

**△ 警告**  
※HT-Rと従来品HT-Aシリーズ、HT-Bシリーズ用のギザ刃、交換方法は異なりますのでご注意ください。HT-Rヨウギザバ (品番 TC90015) をお求めください。  
●ギザ刃を交換する時は、ステーブル射出口、及びテープガイドの内側には、絶対に指を当てない。  
●ギザ刃の抜き取り、挿入はペンチ又はヤットコを必ず使用する。  
●ギザ刃を交換する時は、必ず手袋をはめて作業する。  
●ギザバを交換する前に、必ずステーブルを抜き取る。

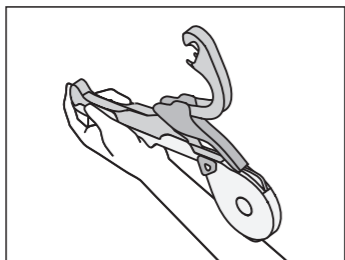
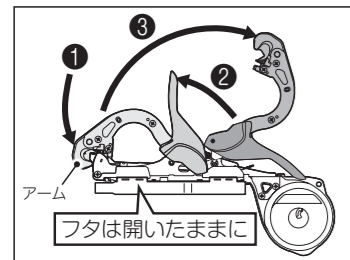
### 1 準備

- ギザバキャップはギザ刃から外さないでください。
- テープ、ステーブルを外します。



●アームを開けます。

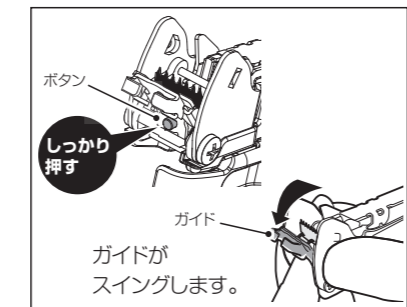
●本体を片手で下図のように持ちます。



### 2 ギザ刃の交換

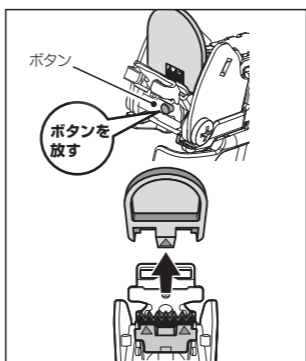
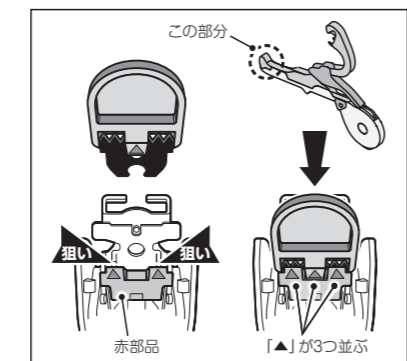
**△ 警告**  
●指をギザ刃に近づけない。ギザ刃で指を傷つけるおそれがあります。

- ボタンをしっかりと押し込みます。
- 古いギザ刃はボタンを押したままペンチで引き抜きます。



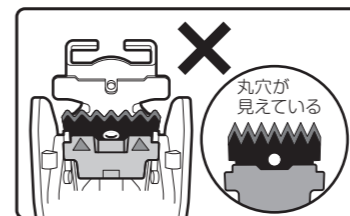
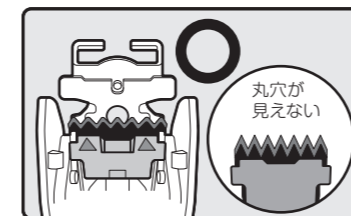
●ボタンを押したまま、ギザバキャップを赤部品の後 (図の狙い位置) に「▲」が3つ並ぶように押し込みます。

●ボタンを放してギザバキャップを引き抜きます。



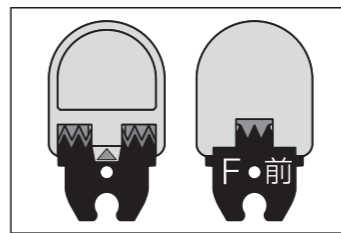
### 3 ギザ刃位置の確認

- ギザ刃の丸穴が見えなければOKです。



#### ※交換に失敗した場合

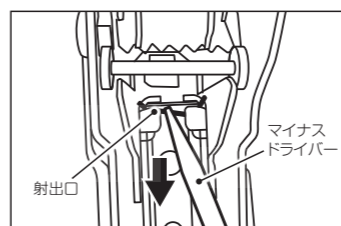
ギザ刃をギザバキャップに、右図のように「▲」マークと「F前」の刻印が裏表になるようセットし、再度やり直してください。



### 針(ステーブル) づまりの直し方

※必ず、残りのステーブルを一度外してから行ってください。  
※部品の変形等を防止するため、マガジンを手で抑えながら下記の手順を行ってください。

**△ 注意**  
●無理やりステーブルを外さない。変形や故障の原因となります。



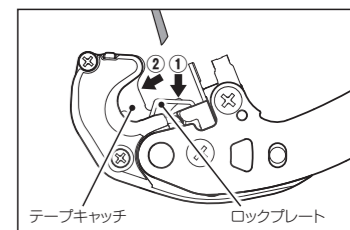
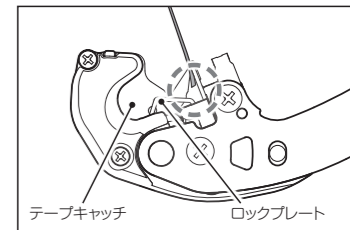
#### 詰まったステーブルの外し方

- ① 針が詰まったらプッシュを開け、マイナスドライバー等の先の細い工具で射出口の真ん中部分から、針を下方へ押し出してください。
- ② 上記①の方法で外せない場合、ラジオペンチでステーブルをつまんで外してください。

## テープキャッチの解除方法

つかんだテープを外したい場合や、点線○部に誤って針金や番線などが入り込んでしまった場合は、以下の操作を行ってください。

- ① ロックプレート (レバー状の部品) を下方向に押し下げます。
- ② ロックプレートを下に押し下げたまま、もう一方のテープつかみ部品 (テープキャッチ) を押し下げます。
- ③ ロックプレートから先に指を離し、テープキャッチから指を離すとテープキャッチが解除されます。



## 使用后

**△ 注意**  
●使用後は、テープ、ステーブルを機械から必ず抜き取り、保管する。  
●摺動部には必ず注油する。  
●使用後は、直射日光のあたる場所、高温・多湿な場所 (例:ビニールハウス内など) を避け、冷暗所に保管する。

本機の性能を維持するために、作業終了後は摺動部に注油してください。  
ジェットオイル (TT05209)  
[タービン油2種 ISO VG32 (JIS K 2213)]

